

温泉成分等のご案内

源泉名 房総温泉 さとの湯
 泉質 ナトリウム-炭酸水素塩泉(低張性・弱アルカリ性・冷鉱泉)
 湧出方法 動力削揚



房総半島 美肌の湯

さとの湯

温泉1kg中の成分

泉温(分析時)

15.3°C

水素イオン(pH値)

8.7

(1)陽イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)
ナトリウムイオン(Na ⁺)	343.6	14.95	92.28
カリウムイオン(K ⁺)	16	0.41	2.53
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	2.5	0.21	1.3
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	3.3	0.16	0.99
鉄(Ⅱ)イオン(Fe ²⁺)	1.1	0.04	0.25
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	7.5	0.42	2.59
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.1	0.01	0.06
陽イオン計	374.1	16.2	100

(2)陰イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)
ふっ素イオン(F ⁻)	0.7	0.04	0.24
塩素イオン(Cl ⁻)	10.2	0.29	1.73
硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	0	0	0
炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	934.5	15.32	91.14
炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	28.8	0.96	5.71
リン酸水素イオン(HPO ₄ ²⁻)	9.7	0.2	1.19
陰イオン計	983.9	16.81	100

(3)遊離成分

ア、非解離成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタけい酸(H ₂ SiO ₃)	63.8	0.82
メタホウ酸(HBO ₂)	5	0.11
メタ亜ヒ酸(HAsO ₂)	0.002	0
腐植質	28.2	—
非解離成分計	97	0.93

イ、溶存ガス成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素(CO ₂) (遊離炭酸)	3.8	0.9
遊離硫化水素(H ₂ S)	0	0
溶存ガス成分計	3.8	0.9

(4)その他の微量成分

総水銀	0.0005mg/kg 未満	鉛イオン	0.001mg/kg 未満
総ヒ素	0.001mg/kg	亜鉛イオン	0.018mg/kg
カドミウムイオン	0.0005mg/kg 未満	マンガンイオン	0.019mg/kg
総クロム	0.003mg/kg	臭化物イオン	0.07mg/kg
銅イオン	0.009mg/kg	ヨウ化物イオン	0.07mg/kg

登録分析機関の名称 / 一般財団法人 千葉県環境財団 登録年月日と番号 / 平成28年12月14日千葉県第3号

入浴を控えた方がよい疾患及び症状

病気の活動期(特に熱のある場合)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような思い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血がある場合、慢性の病気の急性増悪期

浴用上の一般的注意事項

ア、入浴前の注意

- ① 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
- ② 過度の疲労時には身体を休めること。③ 運動後30分程度の間は体を休めること。④ 高齢者、子供及び身体の不自由な人は一人での入浴は避けること。⑤ 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
- ⑥ 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

イ、入浴方法

- ① 入浴温度: 高齢者、高血圧症もしくは心臓病の人、脳卒中を経験した人は、42°C以上の高温浴は避けること。
- ② 入浴形態: 心臓機能が低下している人は、全身浴よりも半身浴または部分浴が望ましい。
- ③ 入浴回数: 入浴開始後数日間は、1日当たり1~2回とし、慣れてきたら2~3回まで増やしてもよい。
- ④ 入浴時間: 入浴温度により異なるが、1回あたり初めは3~10分程度とし、慣れてきたら15~20分程度まで延長してもよい。

ウ、入浴中の注意

- ① 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴する事。② 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさぬよう、ゆっくりと出ること。
- ③ めまいが生じ、または気分が不良になった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

エ、入浴後の注意

- ① 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分をふき取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること。(ただし、肌の弱い人は、必要に応じて塩素消毒等が行われ、刺激の強い泉質になっている場合には、温水で流す方がよい)
- ② 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

オ、湯あたり

温泉療法開始後おおむね3日~1週間前後に、気分不快、不眠もしくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような症状が現れている間は、入浴を中止するか、または回数を減らし、どのような状態からの回復を待つこと。

からさわ